

令和5年度 第1回 三郷市スポーツ推進審議会会議録

開催の期日	令和5年8月2日（水） 午後1時30分				
閉会の日時	令和5年8月2日（水） 午後3時00分				
開催場所	市役所本庁舎7階 大会議室				
出席状況	委員14名中12名 事務局8名				
主な議題	1、開会のことば 2、会長あいさつ 3、部長あいさつ		4、報告事項 （1）令和4年度スポーツ振興課事業報告について （2）令和5年度スポーツ振興課事業計画について （3）令和5年度スポーツ関係委員県外研修会について		
1	東條 雅裕	Ⓐ・欠	8	竹谷 賢二	出・欠
2	神白 高子	Ⓐ・欠	9	澁谷 竹司	Ⓐ・欠
3	駒崎 秀雄	Ⓐ・欠	10	高橋 萌木子	Ⓐ・欠
4	豊田 幹雄	Ⓐ・欠	11	花岡 伸和	出・欠
5	遠井 和子	Ⓐ・欠	12	豊田 康人	Ⓐ・欠
6	高田 晴芳	Ⓐ・欠	13	飯島 豊	Ⓐ・欠
7	川上 トサ子	Ⓐ・欠	14	佐藤 孝祐	Ⓐ・欠
事務局	田中 照久	地域振興部長	事務局	佐々木 徳男	スポーツ振興課長
事務局	豊田 守	総合体育館長	事務局	元井 隆幸	スポーツ振興課 管理係長
事務局	三浦 勲	陸上競技場公園園長 兼スカイパーク園長	事務局	岡庭 祐太	スポーツ振興課 振興係主任
			事務局	坂口 晃平	スポーツ振興課 管理係主事
			事務局	石川 千穂	スポーツ振興課 管理係主事

会議の概要または特記事項

【 1. 開会のことば】

(司会進行：佐々木スポーツ振興課長)

【 2. 会長あいさつ】

(東條会長：あいさつ)

【 3. 部長あいさつ】

(田中地域振興部長：あいさつ)

【 4. 報告事項】

(司会進行：佐々木スポーツ振興課長)

【 (1) 「令和4年度スポーツ振興課事業報告」 】

(議長：東條会長)

- ・事務局より「令和4年度スポーツ振興課事業報告」について説明

[神白委員]

スポーツ競技大会奨励金制度について詳しく教えてほしい。

[事務局]

三郷市スポーツ競技大会出場選手奨励金交付要綱に基づき、申請があった者に対し審査したうえで交付を行っている。交付額は、国際大会5万円・国内大会1万円を交付している。

[澁谷委員]

スポーツ競技大会奨励金制度の周知方法等を聞かせてほしい。また、スポーツ少年団等の各団体に周知しているのか。

[事務局]

奨励金制度の内容については、三郷市のホームページを活用し周知を行っている。奨励金制度を積極的に活用してもらえるように、スポーツ少年団等の各団体にもPRしていきたい。

(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【 (2) 「令和5年度スポーツ振興課事業計画」 】

- ・事務局より「令和5年度スポーツ振興課事業計画」について説明

[豊田幹雄委員]

陸上競技場を多くの人に使用してもらうために、PRはどのように行っているのか聞かせてほしい。

[事務局]

市ホームページ及び指定管理者である文化振興公社のホームページには掲載しているが、もっと多くの人に活用してもらえるようにPRを行っていききたい。

[遠井委員]

番匠免テニスコートの修繕について伺いたい。

[事務局]

令和4年に7・8番コートの修繕が完了し、今年度、5・6番コートのオムニコートへの修繕を8月から行っている。未修繕の1～4番コートについては今後検討していききたい。

[飯島委員]

みさとシティハーフマラソン大会の参加費が年々高くなってきているが、どのように参加費を決めているのか。

[事務局]

近隣自治体のマラソン大会の金額を参考に、実行委員会で議論し参加費を決めている。また、コロナ禍での会社の倒産や、物価上昇を受けて参加費を上げざるを得ない状況である。

[飯島委員]

みさとシティハーフマラソン大会でボランティアをやっているが、三郷市のボランティアには帽子や当日のお弁当まで支給される。我々ボランティアは、みさとシティハーフマラソン大会に携われるだけで楽しんでいるため、ボランティアに支給するものは必要最低限で問題ないと思う。

[事務局]

みさとシティハーフマラソン大会のボランティアの方々が、気持ちよく参加してもらえるように考えていきたい。

(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【(3) 令和5年度スポーツ関係委員県外研修会について】

・事務局より「令和5年度スポーツ関係委員県外研修会」について説明

[高田委員]

県外研修の受け入れについては、相手も内諾しているのか。

[事務局]

受け入れ先の富士吉田市とはスポーツ推進委員との交流も含めて内諾をもらっている。

[川上委員]

視察内容を教えてほしい。

[事務局]

内容としては、富士吉田市のスポーツ施設の視察やスポーツ推進委員との交流等を予定しているが詳細はまだ決まっていない。

[川上委員]

スポーツ推進委員との交流では主にどんなスポーツを行うのか。

[事務局]

各市の軽スポーツやニュースポーツの体験等を行う。前回の視察先の福島県いわき市では、ファミリーゴルフやミニソフトテニスのニュースポーツの体験を行った。

[高橋委員]

今までも何度か県外研修会を開催していると思うが、相手の自治体との研修や交流をした上で交流がどのように繋がっていったのか、また、それをどのように活かしたのか教えてほしい。

[事務局]

スポーツ推進委員との交流等で、自分たちが知らなかった軽スポーツやニュースポーツの導入や、施設の見学では運営方法等での意見交換を行ったりとプラスになる面が多い。また、県外研修会ではスポーツ推進審議会委員とスポーツ推進委員の混成で行くため、それぞれの視点でプラスになる部分が多いと考える。

[高橋委員]

県外研修会後の委員との交流は今までであるのか。

[事務局]

研修先の委員との交流は当日で終わってしまうことが多いが、事務局同士での繋がり等はある。また、他市のスポーツ推進委員からの受け入れ等の相談あり、来月は静岡県の方からスポーツ推進委員が研修に来る予定もある。

(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【５．その他】

[東條会長]

先日、山形県米沢市では女子中学生が部活動から帰宅途中に倒れ、搬送先の病院で亡くなるという悲惨な事故が起きた。原因は、熱中症ではないかと言われているが、今後、このようなことが起こらないための対策として、三郷市はどのようにしているか教えてほしい。

[豊田委員]

学校関係の暑さの対応について、小中学校ではやはり子供たちの健康を守るために、緊張感を持って毎日この暑さに対して対応している。その中で、暑さ指数を朝昼夕方に２～３回計測を行い、その危険度に応じて授業を屋外から屋内に変えたり、屋内のものを座学に変える等の対応をしている。あるいは、午前は大丈夫だが午後には気温が上がるが多いため、授業の入れ替えを行い児童の健康を守っている。

〔佐藤委員〕

小学校の現場ではもう少し細かく暑さ指数を計測していて、暑さ指数が高い場合は放送で水分補給を促したりしている。

〔事務局〕

市はホームページでスポーツ・運動時の熱中症予防について掲載し、市民の熱中症予防について周知・啓発している。

〔高田委員〕

地区スポーツでも暑さ指数の関係で、定例のグラウンドゴルフを中止し、身を守る行動をしている。

また、6月に地区で卓球大会を開催したが、例年は70人～80人集まるところ、今年は60人程となった。9月にもソフトボール大会を予定していたが、高齢化が進んでいるため選手が集まらないのが現状である。ソフトボール大会の代替えとして現在ボッチャ大会を考えており、簡単に誰でも参加できる種目を普及していきたい。

〔飯島委員〕

現在、スペシャルオリンピック日本埼玉の三郷支部でプログラム委員長として活動している。三郷には4つのプログラムがあり、卓球・陸上・水泳・テニスに分かれていて、先般、ドイツで行われた世界大会に参加し、見事卓球部門の女性が個人戦で優勝した。また、女子ユニファイドダブルス・ミックスダブルスで準優勝と出場した全種目でメダルを獲得した。今回の大会報告については、先日、三郷市長への表敬訪問で報告を行った。

〔豊田委員〕

陸上競技協会の事務局を行っているが、日本スポーツ安全協会から各都道府県にスポーツ活動普及奨励金助成事業の案内がきた。今後、助成金を活用しながら中学校の部活動を手伝っていききたいと思う。

〔事務局〕

次回の審議会の日程について報告。（令和6年2月中旬頃の開催予定。）

【6. 閉会】

（駒崎副会長：閉会のあいさつ）